

安全衛生管理の取組み

安全衛生基本方針

当社は2001年4月に「安全衛生基本方針」と「安全衛生行動計画」を策定致しました。

この安全衛生基本方針のなかで、社員一人ひとりが健康で安全に働くことができる労働環境をつくること、経営上の最重要課題として位置づけ、事業活動のあらゆる面で安全を確保することを理念として掲げております。

安全衛生基本方針

理念

三井金属グループで働くすべての人々の安全と健康の確保が、事業活動を行う上で最も重要であるとの認識のもと、安全で働きやすい職場環境を作り上げる。

方針

- 1 安全衛生法規等を遵守するとともに、必要な自主基準を設け、安全衛生管理レベルの向上に努める。
- 2 安全衛生活動を推進するため、三井金属グループの各所社において、組織および体制の整備をはかる。
- 3 事業活動の全ての領域における危険又は有害要因を特定・評価し、その除去または低減に努める。
- 4 安全衛生の向上に関する新たな手法、技術の導入に努める。
- 5 安全と健康の確保は、良好なコミュニケーションのもとに実現されるとの認識に立ち、三井金属グループで働くすべての人々との意思疎通をはかる。
- 6 定期的な監査を実施し安全衛生管理システムの継続的な改善をはかる。
- 7 三井金属グループで働くすべての人々に対し、安全衛生に関する教育・啓蒙等を通じて、安全と健康の確保の重要性を認識させ、意識の向上をはかる。

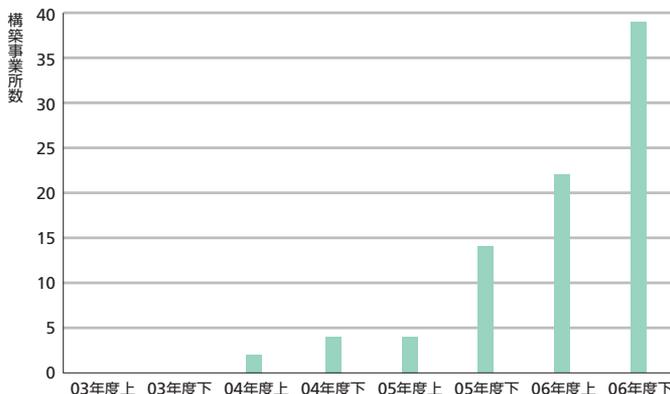
この基本方針は、三井金属グループの全世界の各所社に適用する。

2003年6月27日
三井金属 社長 横原 紘

労働安全衛生マネジメントシステム

当社では、OHSAS18001安全衛生マネジメントシステムを「安全で働きやすい職場環境」を作り上げる仕組みとして、安全衛生行動計画において、2006年度末までに三井金属グループの全所社で構築することを目指しております。

OHSAS18001構築スケジュール

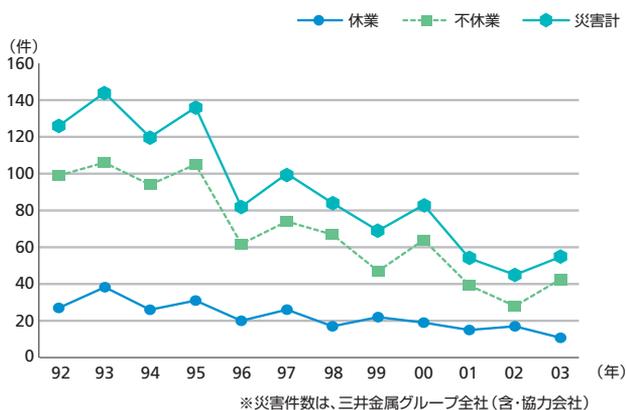


安全成績

全社の災害件数は、1993年をピークに年々減少傾向にあります。2003年は2002年に比べ休業災害は12件と減少しましたが、不休業災害は45件と大幅に増加し、全体件数が57件となりました。

このうち「決めごとを守らず、守らせず」に発生した災害が57件中28件と半数を占めておりました。昨年は、特に「動いている機械に手を出して」の災害が17件と全体の30%を占めておりました。

全社災害件数推移



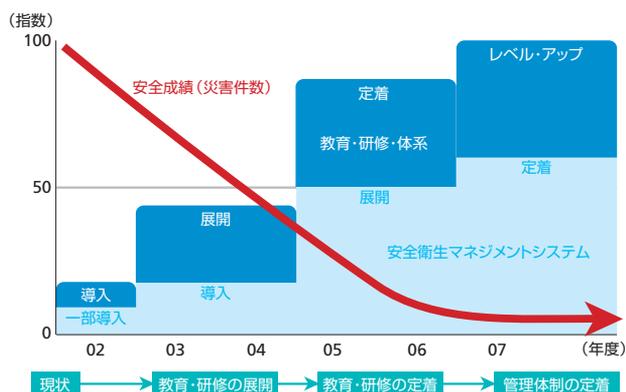
安全の取組み

上記の結果を反省し、「基本ルール」に基づき「動いているものに手を出さない」を守り・守らせているかの点検と指導・教育を重点実施事項として、「安全最優先」の考え方で下記の取組みを実施し、安全面でも最良企業(災害ゼロ)を目指しております。

主な取組み

1. 全社安全衛生教育研修の実施
階層別集合研修、職場実践教育
2. 安全巡視・監査の拡充
法規制の順守と基本方針の実現
3. 労働安全衛生マネジメントシステムの構築
2006年度末までに全社で構築
4. 三井金属グループの「安全の日」
2002年玉野製錬所での請負死傷事故が発生した7月25日を「安全の日」として、全社をあげて安全の原点に立ち返る活動を実施しております。社長の安全メッセージを全社員に伝えるとともに、各所社での安全訓練活動、安全会議の開催などを実施します。
5. 安全基本ルールの周知・実践
 - (1) トップの率先垂範
 - (2) 災害の基本原因の追求と設備改善
 - (3) 労使対話、請負安全管理の強化
 - (4) 外部講師による安全講演会の実施

安全の取組みイメージ図



安全巡視・監査の様子